



平成22年3月29日
国土交通省河川局

【記者発表関係機関】

関東地方整備局
北陸地方整備局
中部地方整備局
中国地方整備局

平成21年度（第3回）地域と連携した川づくりに係る事業の 新たな登録等について

国土交通省は、「水辺の楽校プロジェクト」「河川防災ステーション」の、地域と連携した川づくりに係る事業について、登録等を行います。

国土交通省河川局では、地域の個性やニーズに対応した治水事業の一層の展開を図るため、地域との連携によりハードとソフトを一体的に整備する計画であり、その実現に向けて市区町村の役割が大きい計画について登録等を行い、積極的に推進することとしています。

今後、登録等を受けた計画においては、住民・市町村等と河川管理者で一体となって策定された計画に基づき、まちづくりと一体となった河畔空間の創出や良好な河畔空間創出のための重点的な事業実施等を行うこととなります。

平成22年3月26日付けで登録等を受けた計画の概要については、別紙のとおりです。

【問い合わせ先】

国土交通省河川局 03-5253-8111（代表）

河川環境課 流域治水室 課長補佐 古市 秀徳（内線35-445）
03-5253-8447（直通）

○水辺の楽校プロジェクトの登録箇所一覧（1件）

都道府県名	市区町村名	水系名	河川名	計画名	備考
東京都	多摩市	多摩川	多摩川 大栗川 乞田川	多摩市水辺の楽校	登録

○河川防災ステーション整備計画の承認箇所一覧（4件）

都道府県名	市区町村名	水系名	河川名	計画名	備考
福島県	湯川村 会津坂下町	阿賀野川	阿賀川	佐野目地区河川防災ステーション	承認
三重県	木曽岬町	木曽川	木曽川	源録地区河川防災ステーション	承認
三重県	桑名市	木曽川	揖斐川	城南地区河川防災ステーション	承認
鳥取県	倉吉市	天神川	国府川	秋喜地区河川防災ステーション	承認

【個別計画の概要】

(1) 水辺の楽校プロジェクトの概要

都道府県名	市区町村名	水系名	河川名	計画名	計画の概要
東京都	多摩市	多摩川	多摩川 大栗川 乞田川	多摩市水辺の楽校	当該地区は、多摩川と支川大栗川が合流する地点であり、整備計画上においても水際活動空間として位置づけされている。また、当該地区の直下流部は、生態系保持空間となっており、当該地区を水辺の楽校とすることで、既存の恵まれた自然を活かした環境学習に役立つものである。しかし、当該地区は水辺へのアクセスが困難であることから、当計画において階段を整備することにより、水辺へのアクセス及び河川管理者としての河川巡視の向上を図るものである。

(2) 河川防災ステーション整備計画の概要

都道府県名	市区町村名	水系名	河川名	計画名	計画の概要
福島県	湯川村 会津坂下町	阿賀野川	阿賀川	佐野目地区河川防災ステーション	佐野目地区河川防災ステーションは、洪水被害を最小限に食い止めるため、阿賀川中流部の宮古橋下流における災害時の緊急復旧活動を行う上で必要な緊急用資材の備蓄、駐車場、ヘリポート等のほか、湯川村、会津坂下町が設置する水防センターを配置し、迅速かつ円滑な緊急復旧及び水防活動の拠点として整備する。また、平常時には、イベント、総合学習等の場所として利用するとともに、地域の観光・交流・憩いの場としての活用が可能となる。
三重県	木曾岬町	木曾川	木曾川	源録地区河川防災ステーション	源録地区河川防災ステーションは、高潮被害を最小限に食い止めるため、木曾川下流部の高潮区間における災害時の緊急復旧活動を行う上で必要な緊急用資材の備蓄、駐車場、ヘリポート等のほか、木曾岬町が設置する水防センターを配置し、迅速かつ円滑な水防活動の拠点として整備する。また、平常時には、周辺地域の高揚、防災学習の拠点として利用するとともに、地域の交流・憩いの場としての活用が可能となる。

都道府県名	市区町村名	水系名	河川名	計画名	計画の概要
三重県	桑名市	木曾川	揖斐川	城南地区河川防災ステーション	城南地区河川防災ステーションは、高潮被害を最小限に食い止めるため、揖斐川下流部の高潮区間における災害時の緊急復旧活動を行う上で必要な緊急用資材の備蓄、駐車場、ヘリポート等のほか、桑名市が設置する水防センターを配置し、迅速かつ円滑な水防活動の拠点として整備する。また、平常時には、周辺地域の高揚、防災学習の拠点として利用するとともに、地域の交流・憩いの場としての活用が可能となる。
鳥取県	倉吉市	天神川	国府川	秋喜地区河川防災ステーション	天神川水系は、倉吉河川国道事務所をはじめ、水防拠点となる県・市・町の行政庁舎が浸水区域内にあり、また、国・県・市・町の水防資材も各地に点在しているなど、洪水時に迅速な対応が困難である。 近年の異常気象による想定を超える豪雨に対応するため、倉吉市では、自主防災組織を強化しており、洪水時に水防活動の拠点となる施設を整備する。